

2021父母の会絵本係 活動記録

ときわぎ  
おすすめ絵本全集



公開版

## ～おすすめの絵本を紹介しましょう～

絵本そのものもつ魅力や、絵本を読み聞かせることがもたらす安心感、親子関係の深まりなどを、どんどん広めていけたらいいなどの思いから、絵本係は創設されました。「私はこの絵本がおすすめ！」「我が子はこれがお気に入り！」など、はじめはたったひとことの紹介でも、「その本うちにもあるよ！」「それいいね」「かわいい！」「私も好き」…と、絵本への興味や関心は少しずつ広がっていくことでしょう。

初代メンバーのみなんで手探り状態でスタートしましたので、各自の判断にお任せする部分が多かったのですが、最終的にとってもいい絵本紹介集ができあがりしました。これぞ、ときわぎの保護者力！親子の絆！といってもいいでしょう。令和3年度、原稿をお寄せくださった皆様、ありがとうございました。

事務局：副園長

### 私たちの願い

絵本を通して・・・

- ①子どもらしい感性で、様々なお話と出会ってほしい。
- ②親子の人間関係を深めてほしい。
- ③自分で読みたい本を見つけられるようになってほしい。
- ④保護者同士も、互いに認め合ってほしい。

### 初代絵本係のメンバー・担当月

ちゅうりっぷ						
たんぽぽ						
ほし						
にじ						
ばら						
すみれ						
園	副園長					

### 掲載した媒体

- ①幼稚園だより
- ②マチコミの「タイムライン」
- ③園のフェイスブックページ
- ④園のホームページ

## ～ も く じ ～

- ① 「ありがとう、アーモ！」…………… 3
- ② 「みえた！きょうりゅうのせかい」～ひかりではっけん～ …… 4
- ③ 「ねぐせのしくみ」…………… 4
- ④ 「ちっちなほわほわかぞく」…………… 5
- ⑤ 「エリック」…………… 5
- ⑥ 「チリとチリリ」あめのひのおはなし…………… 6
- ⑦ 「おこだでませんように」…………… 6
- ⑧ 「きょうのおやつは」…………… 7
- ⑨ 「ねずみさんのながいパン」…………… 7
- ⑩ 「めっきらもっきらどおんどん」…………… 8
- ⑪ 「おかしなおつかい」…………… 8
- ⑫ 「どんぐりむらのぱんやさん」…………… 9
- ⑬ 「そらのうえうみのそこ」…………… 9
- ⑭ 「ノラネコぐんだんアイスのくに」…………… 10
- ⑮ 「ちょっとだけ」「ぼくおかあさんのこと…」…………… 10
- ⑯ 「でんでんでんしゃがやってくる」…………… 11
- ⑰ 「うんぴ・うんによ・うんち・うんご」…………… 11
- ⑱ 「しろくまちゃんのほっとけーき」…………… 12
- ⑲ 「パパ、お月さまとって！」…………… 12
- ⑳ 「パンダ銭湯」…………… 13
- ㉑ 「バムとケロのさむいあさ」…………… 13
- ㉒ 「ペンギンのおかいもの」…………… 14
- ㉓ 「おばけのてんぷら」…………… 14
- ㉔ 「りゅうがあります」…………… 15
- ㉕ 「100万回生きたねこ」…………… 16
- ㉖ 「ぜったいにおしちゃダメ？」…………… 16
- ㉗ 「ゆうびんです」…………… 17
- ㉘ 「十二支のはじまり」…………… 17
- ㉙ 「はじめてのせかいちずえほん」…………… 18
- ㉚ 「どんぐりむらのどんぐりえん」…………… 18
- ㉛ 「ばけばけばけばけばけたくん (おみせの巻)」…………… 19
- ㉜ 「だめよデイビッド！」…………… 19
- ㉝ 「ばけばけばけばけばけたくん」…………… 20
- ㉞ 「くまのこうちょうせんせい」…………… 20

## 【絵本係】絵本の紹介

5月号

すみれ組 ○○さんのおすすめです

「ありがとう、アーモ！」

作・絵：オーゲ・モーラ

訳：三原泉

出版社：鈴木出版

うわあ、おいしそうな におい！

シチューのにおいを かぎつけた きんじょの  
ひとたちが つぎつぎと“アーモ”のアパ  
ートに やってきます。

“アーモ”とは、「女王さま」という意味のアフリ  
カの言葉ですが、この絵本の中では、「おばあ  
ちゃん」みたいな感じで使っています。

ひとりひとりに きまえよく シチューを わ  
けてあげたのだけど……。 アーモ、そんなに  
あげちゃって だいじょうぶ？

2021年の産経児童文化出版賞、翻訳作品賞を  
受賞した本作品。分かち合いの心が、あざや  
かに描かれた あたたかい物語です。ぜひ、親  
子でお楽しみください。



## 【絵本係】絵本の紹介

6月号①

ほし組 ○○さんのおすすめです

### 「みえた！きょうりゅうのせかい ～ひかりで はっけん～」

作：サラ・ハースト 絵：ルーシー・クリップス 訳：小松原 宏子

出版社：くもん出版

光でよむワクワクえほん。男の子も女の子もきっと興味がある「きょうりゅうのせかい」。きょうりゅうにはひみつがいっぱい。

★たまごから生まれるって知ってた？

★どうしていなくなってしまったの？

★しそんが生きているってほんとう!?

光を使って きょうりゅうのせかいをのぞいてみてください。裏から光をあけると・・・みえた！

この絵本を買ってあげたらミニ懐中電灯を手に取り、夢中で読んでいます。光を裏からあけると絵が浮かんできます。大人もちょっぴり楽しんでます。



## 【絵本係】絵本の紹介

6月号②

ほし組 ○○さんのおすすめです

### 「ねぐせのしくみ」

作・絵：ヨシタケ シンスケ 出版社：ブロンズ新社

ねぐせってどうしてできるの？その答えがここにあります。

みんなで歌を歌ったり、おいしいものを食べたり、空を飛んでみたり…みんなが見る夢は、実は眠ったあとに本当に体験しているのかも!?

朝になるとできている寝癖も、ヨダレも、お腹が出てるのも、みんな奴らの仕業だよ！

親子で寝る前に読むと、朝が楽しみになります。良い夢みること間違いなしの1冊です。



## 【絵本係】絵本の紹介

7月号①

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

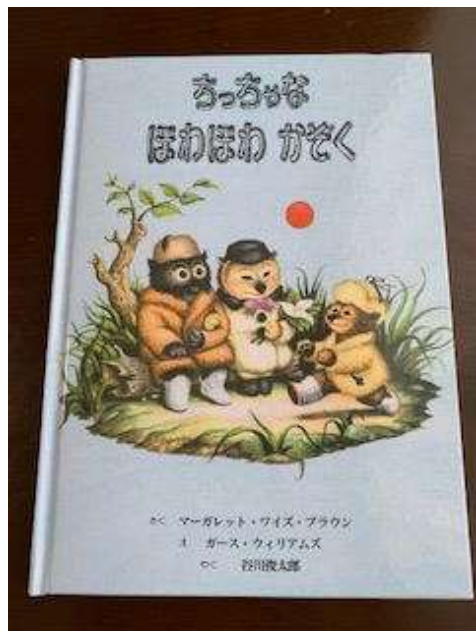
### 「ちっちなほわほわ かぞく」

さく：マーガレット・ワイズ・ブラウン

え：ガス・ウィリアムズ、 やく：谷川俊太郎、 出版社：童話館出版

「ほわほわ」こんな言葉を聞くとなんだか温かい気持ちになりませんか？この本は、「ほわほわこども」の1日の出来事を描いています。おじいさんやさかなたちとの出会いを通して、自然とヒトとの関わりや動物を大切にすることが湧いてくるようなお話です。

この絵本は、とにかく言葉がリズムカルで、子どもたちは、いつもワクワクしながら一緒に読んでくれます。「ほわほわこども」は、ぬくぬくの木に住んでいます。ヒトでしょうか？クマでしょうか？是非、皆さん読んでみてください！



## 【絵本係】絵本の紹介

7月号②

たんぽぽ組 ○○さんのおすすめです

### 「エリック」

作・絵：ショーン・タン、 訳：岸本佐知子、 出版社：河出書房新社

ある日、エリックという交換留学生在がホームステイにやってきた！

エリックの住む部屋を準備していたのに、なぜか勉強するのも眠るのも、台所の戸棚の中。

この街を案内しようといろんなところへ出かけたけれど、エリックが興味を持つのは地面に落ちている小さなものばかり。

すると今度はある朝突然帰ってしまって…

どうして？何か怒ってたの？と悩む僕らが台所の戸棚の中で見つけたものとは…！

エリックが残した置き土産を見るたびに、親子で歓声をあげています。



## 【絵本係】絵本の紹介

7月号③

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

### 「チリとチリリ あめのひのおはなし」

作：どいかや

絵：どいかや

出版社：アリス館

くもりのある日、チリとチリリはいつものように自転車で出かけます。すると雨が降ってきます。“あめのひだけひらいているおみせ”を見つけて入ってみると…。チリとチリリはサイクリングをしながら、いつもかわいくて不思議なお店や食べ物に出会います。こんな素敵なお店があったらいいなあ、どんな味がするんだろうと想像しながら、かわいい絵に癒されます。



読んだらきっと雨の日も探検したくなるかもしれません。

## 【絵本係】絵本の紹介

7月号④

ばら組 ○○さんのおすすめです

### 「おこだでませんように」

作：くすのきしげのり

絵：石井聖岳

出版社：小学館

私はこの本を子どもたちに読んであげるとき、いつも途中から言葉につまりながら読んでしまいます。泣いてしまうのです。私たち大人は、子どもがけんかしている時など、状況も把握していないのに、とっさについ、年上の方を悪者にしてしまいます。歳を重ねていくと、「歳だけ重ねた子ども」がいることに気づきます。(私もその1人ですが…。)子どもの中にも「歳の小さな大人」がいます。



私たちは大人でしょうか子どもでしょうか。そんなことを思わせてくれる素敵な絵本です。

## 【絵本係】絵本の紹介

9月号①

にじ組 ○○さんのおすすめです

### 「きょうのおやつは」

著：わたなべちなつ

出版社：福音館書店



鏡のように反射するピカピカの紙でつくられた絵本です。絵本を開くと、両側のページの絵が互いに映りこみ、驚くほど立体的に見えます。卵をわって、小麦粉、砂糖、牛乳を入れて…さあ、なにをつくるんでしょう？ページに自分の姿も映りこむので、その場にいるような気持ちになります。大人も子どもも、

新鮮な視覚体験と、お

やつづくりの気分が味わえると思うので、ぜひ、読んでみてください。



## 【絵本係】絵本の紹介

9月号②

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

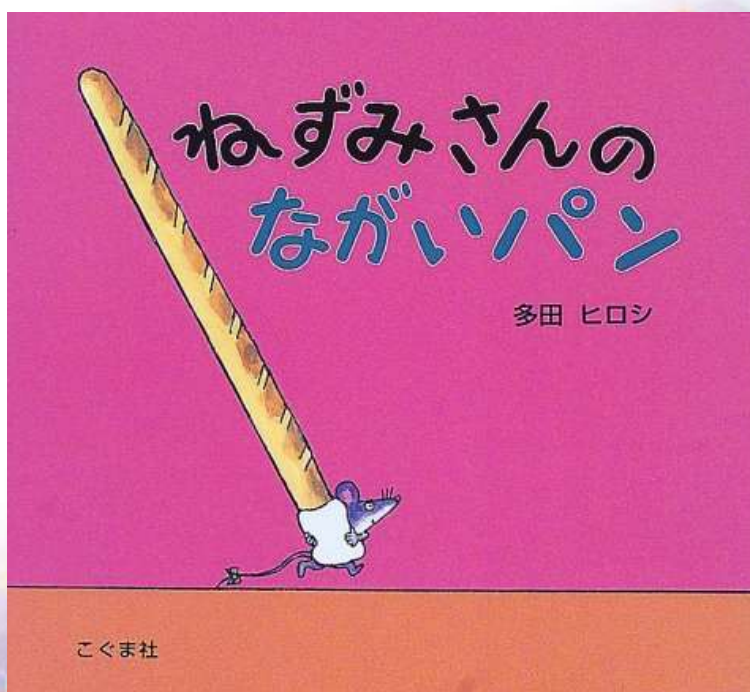
### 「ねずみさんのながいパン」

著：多田 ヒロシ

出版社：こぐま社

ながいパンを持ったねずみさんが、きりんさん、ぞうさん、らいおんさんの家にお邪魔しながら自分の家に帰るお話です。動物さんの家では、みんなそれぞれお食事中。「これがお母さんかな。○○ちゃんみたいだね。」「次は誰のおうちかな。」などとお話ししながら読むのも楽しいです。

リズムカルな繰り返しのお話なので、子ども心をくすぐります。3歳前後のお子さんにおすすめです。



こぐま社



## 【絵本係】絵本の紹介

9月号③

たんぽぽ組 ○○さんのおすすめです

### 「めっきらもっきらどおんどん」

作者：長谷川 摂子、 絵：ふりや なな、 出版社：福音館書店

かんたという男の子が迷い込んだ奇妙な世界のお話です。この不思議な題名は作中でかんたが歌うでたらめな歌の一部。怖そうに見えて、実はとってもチャーミングな3人組のおばけが登場します。



リズムカルな文章と、縦に向いたり横に向いたりする迫力のある絵。我が家の子どもたちはかんたのでたらめな歌を覚えていて、一緒に歌ってくれます。ぜひ、親子で一緒に読んでみてください。

## 【絵本係】絵本の紹介

9月号④

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

### 「おかしなおつかい」

作者：ささがわいさむ、 絵：萩原ゆか、 出版社：Gakken

「チョコレートありますか？」と言えばコチョコチョされる。「シュークリームありますか？」と言えばチューされる。

お母さんにたのまれておつかいにやってきた男の子とおばさん店員の、おもしろおかしいことばあそび絵本です。

子どもたちも覚えてしまうほど何度も読んで、読むたびに笑っちゃうような一冊です。親子のスキンシップも楽しめますよ！



## 【絵本係】絵本の紹介

9月号⑤

にじ組 ○○さんのおすすめです

### 「どんぐりむらのぱんやさん」

作者：なかやみわ、 絵：なかやみわ、 出版社：学研プラス

新作ぱんに悩むどんぐりパパ。なかなかアイデアが思いつかず、子どもたちと約束していた遊園地を先のばしに…。

それを知ったコッペとクッペは夜中にこっそりと新作ぱんを作ろうとします。とっても大きなぱんの上に、くるみやら、やまぶどうの実やら、いちごやら、木の実をのっけて、どんなぱ



んになるのでしょうか。親子の優しい思いやりとかわいい絵が印象的などんぐりむらシリーズ。ほっこりしました。

## 【絵本係】絵本の紹介

9月号⑥

たんぽぽ組 ○○さんのおすすめです

### 「そらのうえうみのそこ」

監修：長沼 毅、 絵：大橋 慶子、 出版社：T0ブックス

主人公のタケシが空の上から海の底まで、大きい物や高い場所・不思議な生き物達と出会う冒険をするお話。

夏休みに海や山など、遠くに行けなかった子も、タケシと一緒に冒険しよう！

小さい子には少し難しいかな？いえいえ、絵を見るだけでも「何だこれ?!」と面白みは充分です。

大人が読んでも「なるほど〜」と思える、宇宙から深海10000メートルを旅する絵本。実は、頭からでもお尻からでも読めるのです。

空から読んだ子は、次は深海からお空へ旅しよう！



## 【絵本係】絵本の紹介

10月号①

すみれ組 ○○さんのおすすめです

### 「ノラネコぐんだん アイスのくに」

作・絵「工藤ノリコ」 出版社「白泉社」

アイスクリームパーラーを覗いているノラネコぐんだん。「ニャー アイ たべたいね」そこでアイスの国の工場へ行き、誰もいなくなるのを見計らってアイスを全て食べてしまいます。でも、待ち受けていたのは…。予想外の展開とユルカワな絵に、思わずクスッと笑ってしまうような絵本です。これは何味のアイスになるかなー。どれが好きー？など子供も好きなアイスの話で盛り上がった、親子で楽しめる一冊です。



## 【絵本係】絵本の紹介

10月号②

副園長のおすすめです

### 「ちょっとだけ」

作：瀧村 有子 絵：鈴木 永子 出版社：福音館書店

なっちゃんの家にも、あかちゃんがやってきました。ママとの時間はもちろん、いろいろなことが「ちょっとだけ」に…。なっちゃんの言う、いろんな意味に使われる「ちょっとだけ」から、様々な気持ちが伝わってきます。とってもけなげな「ちょっとだけ」、とってもやさしい「ちょっとだけ」、とってもがんばりやな「ちょっとだけ」。とってもポジティブな「ちょっとだけ」。そして、ちょっとずつ「おねえちゃん」になっていきます。最後の場面は感動！なっちゃんと、ママと、あかちゃん。みんなよかったね。

ちょっとだけ



瀧村有子 鈴木永子

### 「ぼく おかあさんのこと…」

作・絵：酒井駒子 出版社：文溪堂



男の子をもつお母さんにも読んでほしい一冊！この本との出会いは、NHKの読み聞かせ番組。冒頭での「ぼく、おかあさんのこと…」から、強烈な一言が！！当時3歳だった娘は、言ってはいけないことをさーっと言う、主人公のうさぎの男の子に興味を持ったようで、大喜び。私もすぐに注文したのでした。何度も何度も読み返すうちに、男の子の言っていることの真意も分かってきました。また、娘は「ママの視線」を追っていたようで、ママの気持ちにも共感したようです。私自身は、酒井駒子さんの絵に興味をもち、他の作品にも手をのばしてしまいました。絵も内容もおすすめです。

## 【絵本係】絵本の紹介

11月号①

ほし組 ○○さんのおすすめです

### 「でんでんでんしゃがやってくる」

作者：古舘綾子、 絵：葉 祥明、 出版社：岩崎書店

“がたんごとん がたんごとん  
がたんごとん”“でんでんでんしゃ  
がやってくる”と、1ページめくるた  
びに出てくるフレーズがリズムカ  
ルで、とてもテンポよく読めるお話  
です。毎回いろいろな駅で止まりま  
す。『のせてください!』…そこに現  
れた乗客はー!?どんどん増えてい  
く乗客たち。最後はどこに向かうの  
かな!?『のせてください』『はい、  
どうぞ』と子どもと掛け合いがで  
きるので、親子で楽しめますよー!!



## 【絵本係】絵本の紹介

11月号②

にじ組 ○○さんのおすすめです

### 「うんぴ・うんにょ・うんち・うんご」

作：村上 八千世、 絵：せべ まさゆき、 出版社：ほるぷ出版

子どもの「うんち」による健康チェック  
ができます!子どもってうんちネタが好  
きですね。そこで探したこの本「うん  
このえほん」。うんこを「うんぴ」「うんご」「  
うんにょ」「うんち」の4種類に分けてあり、  
どんな時にどんな「うんこ」が出るの  
が楽しく分かります。この頃の年代はうん  
ちやおしっこが鉄板なので、爆笑するこ  
と間違いなし!子どもも、今日はどんな  
のが出るかな〜と、トイレが楽しみに思  
える一冊です。



## 【絵本係】絵本の紹介

12月号①

ばら組 ○○さんのおすすめです

### 「しろくまちゃんのほっとけーき」

作：わかやま けん

出版社：こぐま社

絵本を開いてホットケーキを作りながら、子どもが歓喜する姿を想像しました。

- ① おおきなホットケーキを食べる嬉しさ
- ② ホットケーキができる過程への興味
- ③ 自分で作るという事の魅力

食べる喜びは仲良く分け合ったりして。ホットケーキ作りの興味は、フライパンの中の音などを添えて。作る楽しみには、仕度や道具、材料への興味もあると



思います。



これらを合わせると、絵本をめくることがもっと楽しくなることでしょう。

## 【絵本係】絵本の紹介

12月号②

にじ組 ○○さんのおすすめです

### 「パパ、お月さまとって！」

作：エリック・カール

訳：もりひさし

出版社：偕成社

お月様と遊びたくなってしまったモニカという女の子は「パパお月様とって」とパパにお願いします。そこでパパはながーいハシゴを持ってきて、、、はたして愛する娘にお月様をとってくることはできるのでしょうか。

私自身が大好きだった絵本で読む側になった今も仕掛けが楽しくわくわくします。次のページではどんな風に絵本が開いていくのか子供達もわくわくして読む前に仕掛けを開きたがります。夜お月様を見るのも楽しくなります。



ほし組

〇〇さんのおすすめです



パンダの秘密 おしえます  
大人もはまる 湯〜モラスな絵本



# パンダ銭湯

さく tupera tupera

あら  
いらっしやい

世にも珍しい、  
パンダだけしか入れない  
お風呂屋さん。



「パンダ湯」では、  
決してみでは

いけない光景が  
みられます。

♪おふる おふる



あ! とおどろく パンダの秘密を  
ぜひ のぞいてみて下さい(笑)  
歯医者者の待合室で大笑いしました...

## 【絵本係】絵本の紹介 12月号④

すみれ組

〇〇さんのおすすめです

### 「バムとケロの さむいあさ」

作・絵：島田 ゆか

出版社：文溪堂

かわいいバムとケロの日常、  
二人の楽しいやりとりに、思わず  
笑顔になる絵本です。

バムとケロのお家では、毎日、  
色々な出来事があり、次はどん  
な事が起きるかな?と、わくわく  
してきます。

この絵本を読み終える頃には  
……きっと、寒い朝も楽しみにな  
るかもしれませんね!!



島田 ゆか

## 【絵本係】絵本の紹介

12月号⑤

すみれ組 ○○さんのおすすめです

### 「ペンギンのおかいもの」

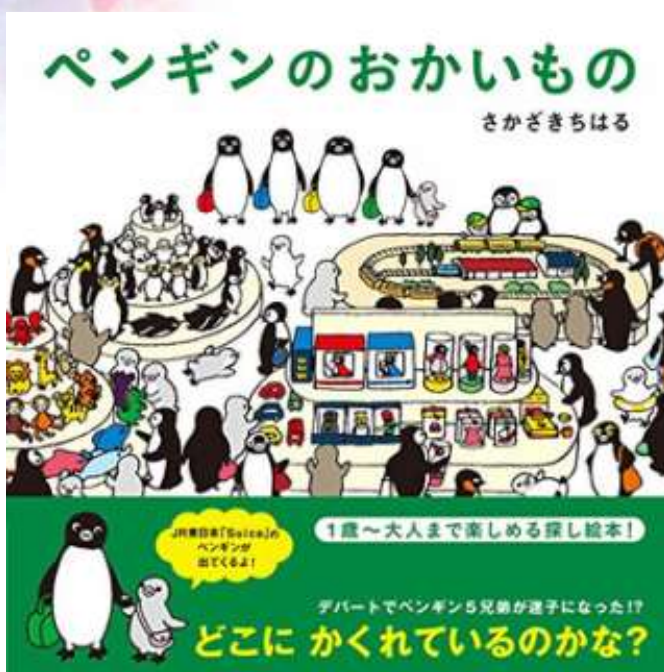
作・絵：さかざきちはる

出版社：WAVE出版

Suicaでおなじみのペンギンのキャラクターが5兄弟になって絵本の中に登場します。

やって来たのはデパート。次々に欲しい物を見つけておかいものは順調。おなかをすかせてレストランのショーケースにみとれている間に未っ子のちびすけが迷子?!に。最後はちびすけの機転の利いた行動に思わずニッコリ。

見開きいっぱい描かれた表情豊かなペンギンやカラフルな商品を見ながら親子の対話を楽しめる一冊です。



## 【絵本係】絵本の紹介

12月号⑥

ばら組 ○○さんのおすすめです

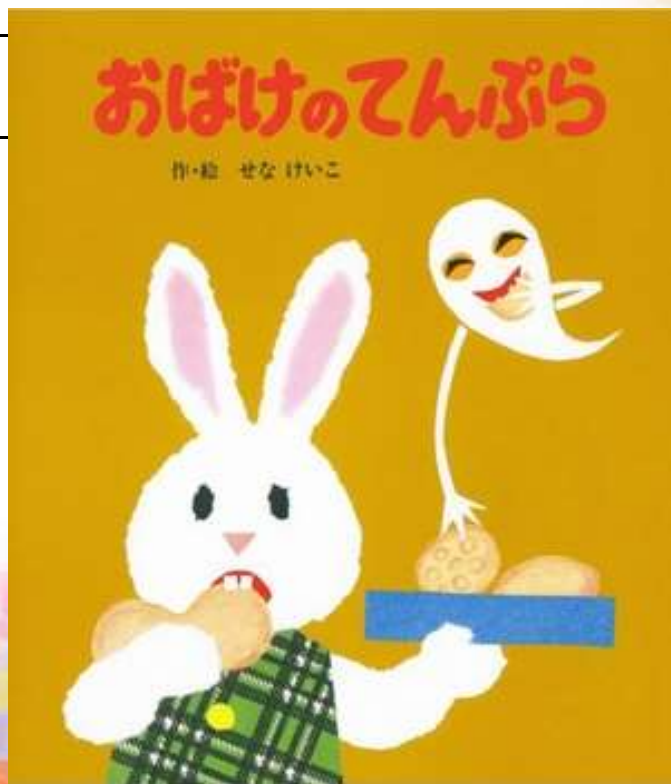
### 「おばけのてんぷら」

作・絵：せな けいこ

出版社：ポプラ社

食べるのが大好きなうさこがてんぷらをあげていると、においにさそわれた山のおばけが、そーっとしのびこんで来て…。

うさこのおとぼけな所と、怖くないおばけのキャラクターが面白いです。うちの子が初めて読んだのは年少の時ですが、年長になった今も「何回読んでも面白い!」とお気に入りの本です。



ばら組 ○○さんのおすすめです

「りゆうがあります」

作・絵：ヨシタケシンスケ

出版社：PHP研究所

子どものよくあるクセ(鼻をほじったり、爪をかんだり)に理由をつけて大人を納得させようとする可愛いお話です。大人が「だめだよ」と言うのも、理由があります。でも子供にも理由(いいわけ?)があるんです。親子で読みながら○○ちゃんこれやっちゃうよね～など、親子で話ながら読むと面白いです。

ちなみに、これを読んだあとに『ふまんがあります』という絵本も出るので合わせて読むととっても面白いですよ。





## 【絵本係】絵本の紹介

1月号①

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

### 「100万回生きたねこ」

作・絵：佐野 洋子 出版社：講談社

主人公の「ねこ」が何度も生まれ変わり様々な飼い主との出会いの末に大切なものを見つけます。

読む年齢や立場でそれぞれ感じ方が違うかもしれませんが、この物語には世代を問わず楽しめる要素が含まれています。

誰かを愛せるというのは幸せなことだとこの本は教えてくれます。

私自身も幼稚園の時に先生に読んでもらって好きだった本ですが、大人になってから読んでも面白かったです。

是非みなさんも読んでみてください。



## 【絵本係】絵本の紹介

1月号②

ちゅうりっぷ組 ○○さんのおすすめです

### 「ぜったいにおしちゃダメ？」

作：ビル・コッター 出版社：サンクチュアリ出版

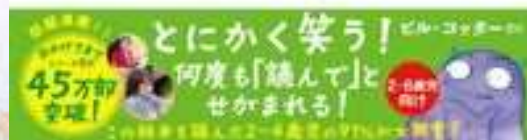
プレゼントで頂いてから、娘も鬼ハマりしているシリーズです。押しちゃダメって言われるとついつい押したくなっちゃいますよね。

この絵本は、押しちゃダメとはわかっているけど、ついつい押したくなっちゃうボタンの魅力を再現しています。絵本を開くと、左のページに赤いボタン、右のページに紫の不思議なモンスター「ラリー」が描かれています。

押しちゃダメとわかっているけど、押したらどうなるんだろう？ラリーはボタンに興味津々です。必死にボタンを押すのを我慢するラリーでしたが、我慢も限界、誰も見てないからと、とうとうボタンを押しちゃいます。すると……。

お子さんの好奇心をくすぐる素敵な絵本です。一度読み聞かせてあげると、もう一回読んでとせがまれること間違いなしです。

ぜったいにおしちゃダメ？



## 【絵本係】絵本の紹介

1月号③

すみれ組 ○○さんのおすすめです

### 「ゆうびんです」

作 : 日本郵便オフィスサポート

絵 : play set products

出版社: フレーベル館

郵便局で見かけて購入した絵本です。

手紙を書いてポストに投函してから相手の家に届くまでの物語。

監修が日本郵便(株)なので、窓口業務や仕事を分ける機会など仕事の過程が忠実に書かれています。

郵便局や郵便の仕組みがよくわかりました。



## 【絵本係】絵本の紹介

1月号④

すみれ組 ○○さんのおすすめです

### 「十二支のはじまり」

作 : 日本むかしばなし

文と絵: いもとようこ

出版社: 金の星社

十二支の由来がわかる絵本です。  
鼠、牛、虎、兎、辰、巳、馬、羊、猿、鳥、犬、亥。

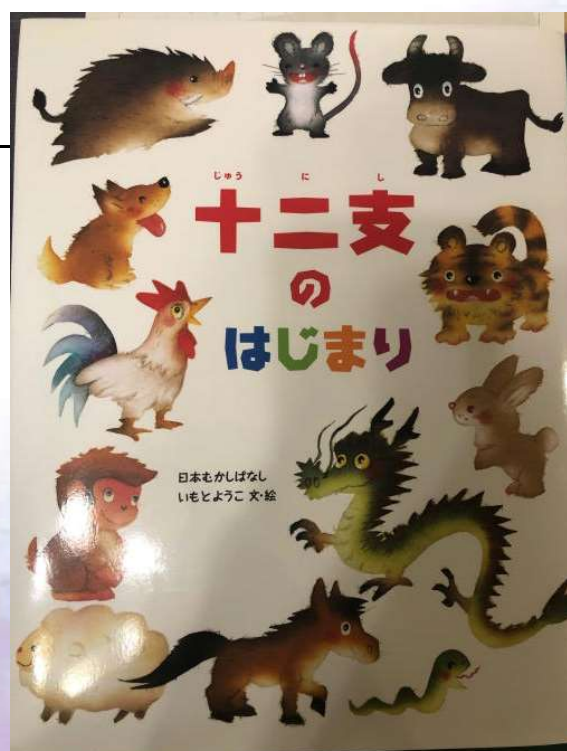
十二支はどうやって決まったのか?

どうして猫ははいっていないの?

猫が鼠を追っかけるのはなぜ?

このお話を読めばわかります。

いもとようこさんの絵がとても可愛い  
です。



【絵本係】絵本の紹介

1月号⑤



すみれ組 ○○さんのおすすめです

「はじめてのせかいちずえほん」

監修 「赤澤豊」 絵 「てづかあけみ」

最近、子供が眠る前にパパと読んでいる絵本です。それぞれの国ごとの言語、食べ物、山の高さや川の長さの比較など特徴が様々な切り口で紹介されており、世界に興味をもってくれる絵本です。「ねえ知ってる？世界で一番人が多い国は…」知った事を私に教えてくれるのが楽しみです。

【絵本係】絵本の紹介

1月号⑥

すみれ組 ○○さんのおすすめです

「どんぐりむらのどんぐりえん」



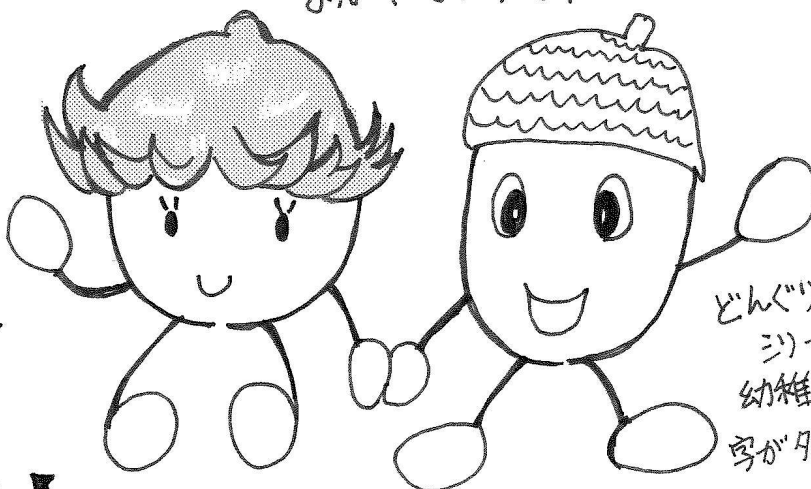
内容は朝から帰りまでの1日の様子と園の行事「お店屋さん祭り」の準備から開催当日までの様子です。先生達が見守る中でのびのび育つ子供達が細かい部分まで書かれており読みごたえ見応えがあります。いろいろなどんぐり達がいるのでお気に入りの子を見つけたり、お友達に当てはめながら読むのも楽しいです。

どんぐりむらのどんぐりえん

なかや みわ・さく



くぬぎ  
こなら  
ならがしら  
しらがし  
うばめがし  
あかがし  
あべまき  
まてばしい  
いちいがし



も どんぐりの種類です。  
たくさんのどんぐりがあります。

どんぐりむら  
シリーズの  
幼稚園版。  
字が大きいですが  
絵だけでも  
楽しいです。

## 【絵本係】絵本の紹介

2月号①

ほし組 ○○さんのおすすめです

### 「ばけばけばけばけばけたくん（おみせの巻）」

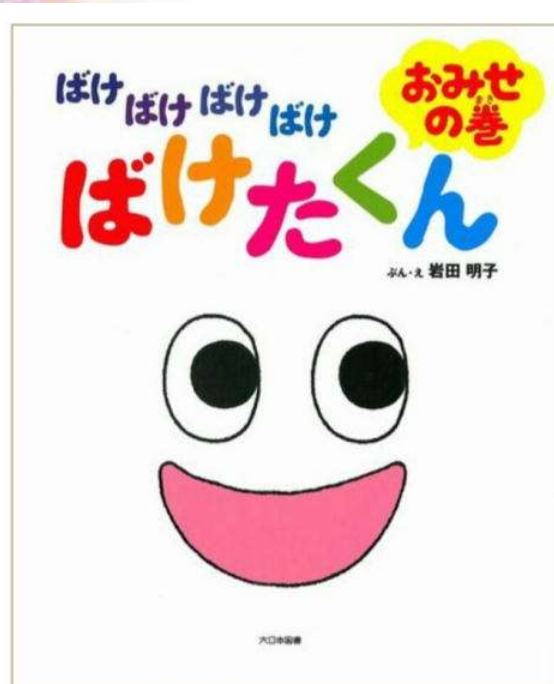
作 絵：岩田明子

出版社：大日本図書

大きな目に大きな口のおばけのばけたくんが、色々なところに出かけては美味しいものを見つけます。食べたものに变身してしまうばけたくん。

今夜も見つからないようにつまみ食いしていると。。

变身した姿はちょっぴりリアル。びっくりしたり笑えたりそんなかわいいおばけのお話です。



## 【絵本係】絵本の紹介

2月号②

ほし組 ○○さんのおすすめです

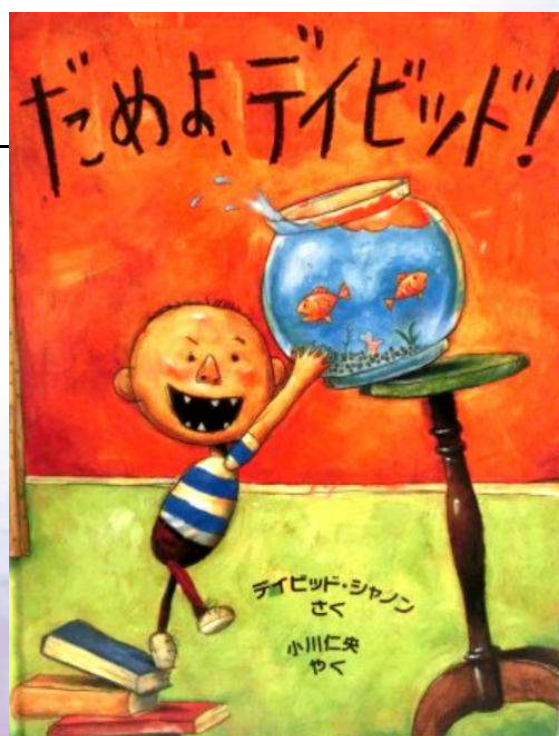
### 「だめよデイビット！」

作 : デビッド・シャノン

訳 : 小川仁央

出版社：評論社

元気いっぱいの男の子がいたずらをして大暴れ。ママはいつも言います。『だめよ、デイビット!』いたずらの内容に驚いたり共感したり。小さなお子さんも何度も読むと、ママとデイビット両者の気持ちに気が付きます。セリフが少ないので子ども同士で読み合うのも楽しいです。大きくなったお兄ちゃんお姉さんも楽しめるかもしれません。



## 【絵本係】 絵本の紹介

3月号①

たんぽぽ組 ○○さんのおすすめです

### 「ばけばけばけばけばけたくん」

作者：岩田 明子

絵：岩田 明子

出版社：大日本図書

この絵本はおばけのばけたくんが、いろいろなものをつまみ食いして、食べたものに変身する内容のお話です。子どもも知っている食べものばかりで、その特徴を踏まえて変身するので話に入りやすく、台詞もリズムカルで擬音の表現が多いので小さい子でも楽しめます。我が家は、2歳と4歳児で上の子たちは小学生ですが、下の子どもたちも楽しんで聴き、上の子2人も何げに楽しんでいました。時には上の子が、下の子たちに読み聞かせてくれたりしています。小学生が読む時にもオーバーリアクションで読んでくれるので、より面白おかしく仕上がります。

読む側もテンションを上げてオーバーリアクションで読むことを推奨します。それにより家族みんなで楽しめる一冊になるかと思えます。いかがでしょうか!!

ばけばけばけばけ  
ばけたくん  
岩田明子



大日本図書

## 【絵本係】 絵本の紹介

3月号②

たんぽぽ組 ○○さんのおすすめです

### 「くまのこうちょうせんせい」

作：こんのさとみ

絵：いもとようこ

動物たちが通う学校は、毎朝くまこうちょう先生が元気に迎えてくれます。

一人大きな声で挨拶ができないひつじくんは、「おはよう」の練習をしていました。

ある日、こうちょうせんせいの声が小さくなってしまいます。でもそれで分かったことがあったのです。限りある毎日を精一杯生きることのすばらしさ…やりたくてもできないもどかしい気持ち…それに寄り添うこと

の大切さ…様々なことを気付かせてくれる一冊です。

